

# AMSTWの靴底は、様々な機能を備えています



私たちが開発したAMSTWの靴は、種々の症状に対応できるような多様な機能を備えています。

【A】は、足を動かす機能に問題のない方のためのものです。市販靴に比べて、「ヒール・ロッカー」や「トゥ・スプリング」、「フレア」などの靴底の機能をしっかりと備えています。

「ヒール・ロッカー」は、踵の部分の部分を少しカットした形状にしてあり、踵の衝撃を和らげ、つま先をまっすぐ上げて踵からの着地がしやすいよう、また、着地時にアキレス腱や膝がよく伸びて正しい歩き方がしやすいように配慮してあります。

「トゥ・スプリング」は、つま先部分がしっかりと上がった形状になっていますので、つまづきを予防し、趾先でのスムーズな蹴り出しがしやすくなっています。

加えて、地面へ向かって広がった「フレア」の形状が、体のふらつきを予防し、安定した歩行ができるよう工夫されています。

正しい歩き方でしっかりとウォーキングをしたい健康な方から、筋力が弱ってつまづきやふらつきの出やすい高齢の方まで、正しく歩くことで足の機能を維持、増進し、健康な体を保つて頂くことができます。

また、外反母趾や扁平足、足の痛み、腰・膝痛など、問題のある方もアーチサポートなどのフットベッド(足底板)の機能で対応できる方は【A】のタイプが適切です。

【B】は、「ロッカー・バー」という機能を備えた靴底です。

股関節、膝、足首、足部の関節や筋肉の機能に問題のある方、関節を動かすと痛みが出る方、麻痺のある方、足運びが不自由な方に、ご自分の筋肉や関節をなるべく動かさずにスムーズに歩いて頂くことができるようにするための機能です。

リウマチなどの関節に痛みが出るご病気の方、変形性股関節症、変形性足関節症などで関節の変形がおありの方、事故やご病気、先天性障害による麻痺の方、手術などで関節を固定されたり、足部の後遺症がおありの方などに、回復できない足の機能を補い、また痛みを予防する効果があります。

「ロッカー・バー」機能で、歩行がスムーズになり、痛みなく歩けるようになった、歩行が楽になり歩ける量が増えた、と大変多くの方に喜んで頂いています。

いくつかの例をご紹介します。

## リウマチによる足趾変形の方の場合・・・



足趾の変形が大変大きく、趾の関節が動かないため、足趾で蹴ることができません。また、趾の関節が変形しているために足底に角質ができ、歩行時に大きな痛みを伴う方です。

13年前よりエルデの靴を使用して頂いていますが、「ロッカー・バー」のついた靴を履いて歩いて頂くと、こんなに変形のある方とは思えないスムーズな歩き方をされます。

「動けて歩いて仕事に行ける。これもエルデさんの靴あればこそ!!」と、四季折々にご丁寧なお便りを頂いています。

## リウマチによる足趾変形の手術後の方の場合・・・

やはり、足趾の大きな変形があった方ですが、足趾の関節の手術——中足骨骨頭の切除術——を3年前にされ、趾の変形はなくなりましたが、関節は手術で固定しているために、やはり趾を動かして蹴ることはご不自由です。

現在、ゆるやかな「ロッカー・バー」のついたリウマチ用の靴を愛用していただいています。

「ロッカー・バー」のついていない底の靴で歩くと、歩行後に腰痛が出るのとこと、手術前に作った他の靴も、趾で蹴る位置が変わられたため、現在の足の状態に合った「ロッカー・バー」にお直しをして履いて頂いています。

## 変形性足関節症の方の場合・・・

右の足首(足関節)が大きく外側へ傾いて、足首に痛みが強く、「変形性足関節症」との診断で病院で足底板を作製したが色々不具合があり、靴できちんと対処したい、と来店されました。

色々な靴を履き比べて頂いたところ、足首を包むブーツ型の靴が安定して歩きやすく、さらに「ロッカー・バー」の機能がついたものと足首の痛みを全く感じない、とのことで、現在作製中です。

このように、「ロッカー・バー」は様々な症状に効果があります。

以前お作りした靴で、さらに「ロッカー・バー」を付けることで効果が期待できる場合は、後からの加工も可能です。

「ロッカー・バー」の形状も、症状によって微妙に異なる

変形性股関節症、変形性膝関節症で人工関節手術をされた方のために  
右に 13mm 補高



靴底で 8mm  
靴の中で 5mm  
上げています。

シャルコマリートゥース病で尖足の方のために  
室内履きに踵部分の補高



AMSTWの靴底は、このような色々な加工が可能で、また、衝撃吸収性と安定性を重視した素材のため、どうしても摩擦しやすいという欠点があります。底面の模様が無くなると雨の時に滑りやすくなりますので、時々は点検して、擦り減っている場合は修理をお申し付け下さい。部分的な修理、全体の修理、特に滑りにくい素材への変更等、お一人お一人の履き方の状態を拝見して、最も適切な方法でお直し致します。

## お便りありがとうございます

この度も、わがままなお願いに、早速に適切に対応下さりまして、ありがとうございました。

本日8月3日、コルク中敷2枚いただきました。

4mmで、サンダルのベルトを少し緩めて使うことで、左足への負担がとても軽くなりました。

いつもながらのご配慮に今回も助けていただきました。

記録的な暑さの中でもお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。どうぞくれぐれもご自愛くださいませ。

退院後、改めまして、ご連絡申し上げます。

まずはお礼と、ご報告まで申し上げます。

ありがとうございました。

ることが多いですので、標準的なもので適合しない場合は、ひとりひとり再加工することになります。

ところで、最近、市販靴で「ロッカー・バーのついた靴なので歩くのが楽」という広告を見かけました。

商品を見ていませんので分かりませんが、本当に「ロッカー・バー」がついているのなら、これは健康な方には不適切です。

自分の筋肉をあまり使わずに歩けるわけですから、「楽・・・」と思っていたら、いつの間にか「筋力が低下」ということになってしまいます。

もともと、「ロッカー・バー」の用語の使い方が不適切なのかもしれませんが・・・

また、AMSTWの靴は、靴底を様々に加工することを想定した素材を使用していますので、左右の脚長差がある方の「補高」なども、色々症状に合わせて行なっております。

変形性股関節症で4年前から靴をお作りしている方です。

今回、7月に人工関節の手術をお受けになり、そのご入院中の病院からお電話を頂きました。以前お作りした室内履きを病室で使用しているが、手術の結果、左右の脚長差に変化が生じたため、少し調整をしたいとのこと。ご入院中で来店できないので何か方法はあるだろうか、とのご相談を受けました。

とりえず、少し高さを付けるためのコルク板を作って病院へお送りしましたので、そのお礼とご報告のお便りです。状態が落ち着かれたら、ご来店頂き、きちんとした調整をさせて頂く予定です。

股関節疾患の方は、このようにほんの数ミリの高さの違いで、痛みや歩きやすさが違うようです。何か不具合があれば、いつでもご相談頂きたいと思っております。